

いのこしクラブ

平成 27 年 12 月
老人保健施設いのこし
名古屋市名東区猪子石原1丁目1501番地

～大晦日～

今年もとうとう12月になり、寒さも一段と厳しくなってきました。皆さんも体調を崩すことなく、この年末を過ごしていきましょう。今回は「大晦日」についてお話をしたいと思います。

大晦日の行事は古く、平安時代頃から行われていたようです。本来、大晦日は歳神様を祀るための準備が行われる日でしたが、仏教の浸透とともに、除夜の鐘をつく習慣も生まれました。除夜の鐘を108回鳴らすことにも理由があり、108とは仏教思想に基づく百八煩悩を意味しています。煩悩とは「心を惑わし、身を悩ませる」ものを言い、鐘をつくことでこれらの煩悩を1つ1つ取り除いて、清らかな心で正月を迎えようとするものです。また、108回のうち最後の1回は年が明けてから突きます。これは、今年1年煩悩に惑わされないように、という意味が込められているそうです。

大晦日の風物詩である年越し蕎麦〔としこしそば〕は江戸時代頃から食べられるようになったもので、その由来は諸説あります。そばは細く長く伸びるので、「長寿延命」「家運長命」などの縁起を担いで食べるようになったという説や金銀細工師が散らかった金粉

を集めるために使っていたのがそば粉であったことから、新年の金運向上のために食される様になったという説があります。他にも旧年の苦勞を切り捨てるという説や健康祈願のために食べるという説など様々あるとされています。

～12月の誕生日者紹介～

●2階の方

川上 清様	94歳	里中 玉代様	90歳
伊藤 玉枝様	89歳	梶川 よしみ様	88歳
服部 信也様	82歳		

●3階の方

各務 まさ江様	96歳	玉腰 きくゑ様	93歳
小林 静子様	91歳	岩田 利子様	88歳
山村 勝弘様	77歳		

～12月の行事予定～

12月9日(水)

誕生日会&香流保育園

12月23日(水)

クリスマス会&フラダンス

